

第5章 計画の推進

1 計画の周知・進行管理

計画の適切な進行管理を進めるために、庁内関係課から施策の進捗状況について情報収集を行い、市民を主体とした「清須市次世代育成支援行動計画策定委員会」にて点検、評価を行い、各種施策の推進や新たな課題への対応などに向けて意見を聞き、今後の施策の計画に取り組んでいきます。

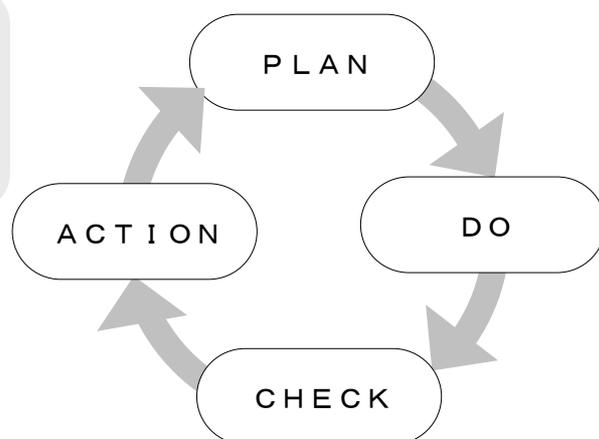
また、市民ニーズへの的確な対応、社会情勢や国の動向の変化に適確かつ柔軟に対応するためにも、この計画の進行管理は、「P D C Aサイクル」による「継続的改善」の考え方を基本とします。

P=PLAN（この計画の具体的な事業など）
D=DO（実行）
C=CHECK（点検・評価）
A=ACTION（見直し）

このサイクルは、個々の事業ごとにP D C Aと回り、再度、見直し後のPにもどり、具体的事業の改善点を把握し、新たなサイクルを回していくことにより、事業の継続的な改善を図る（充実させる）ことを年度ごとに繰り返していきます。

なお、P D C Aサイクルの適用は、基本的には個別事業単位として、個別事業ごとに進行管理しながら計画の全体の改善および向上へとつなげていきます。

計画の実施状況については、ホームページへの掲載などにより市民への周知を図ります。



2 計画の推進体制

後期行動計画は、福祉・保健・医療・教育・労働・まちづくりなど、幅広い分野に施策を推進する必要があるため、庁内関係部局間の有機的な連携や緊密な調整を行い、全庁的な取り組みの充実を図ります。

また、保育所、学校、子育て支援センターをはじめ、地域で活躍する子育てサークルなど地域活動団体、さらには事業所など地域をあげた取り組みを推進し、市民と行政の協働による子育て環境を推進します。

